令和4年度行政評価 事務事業評価シート（令和3年度実績）

事務事業コード	030502010	予算コード	02050310
事務事業名	保健医療事業		
担当課	国保年金課		
根拠法令等	法定受託以外の法令 ■法律・政令・省令　■条例・規則 国民健康保険法、泉佐野市国民健康保険条例		
事務事業類型	運営事業		
実施手法	全部委託		
対象			
特定の市民		対象数	20533
国保被保険者			
事業の内容			

保健医療事業として、人間ドック（30歳以上：本人負担13,000円）、脳ドック（40歳以上被保険者：本人負担15,000円）の実施、基本健診（15歳以上40歳未満）：本人負担1,000円、医療費通知の実施をしている。

事業の目的

国保法第８２条に規定する健康教育、健康相談、健康診査その他の必要な事業を行い、被保険者の健康保持増進を図る。医療費通知については、昭和５５年の厚生省通知により被保険者に健康に対する認識を深めていただくことを目的とする。

従事人員（人）	
正規職員数	0.15
嘱託職員数	0
臨時職員数	0.03
歳出（千円）	
人件費総額	1,202

投入コスト（千円）	
国庫支出金	0
府支出金	19,268
市債	0
その他	173
一般財源	2,996
減価償却費	0
事業費	21,235

フルコスト（千円）	22,437
市民1人当りコスト（円）	228

活動指標	R3実績
人間ドック受診者	351.0
脳ドック受診者	76.0
医療費通知送付回数	6.0
基本健診（１５歳以上４０歳未満）受診者数	165.0

成果指標	R3実績
人間ドック受診者	351.0
脳ドック受診者	76.0
医療費通知送付数	61,641.0
基本健診（１５歳以上４０歳未満）受診者数	165.0

コスト指標	R3実績
一人あたり人間ドック費用額	37,600.0
一人あたり脳ドック費用額	35,760.0
一人あたり基本健診費用額	5,314.0

評価	評価点
有効性	B
効率性	B
妥当性	A
受益者負担	B
緊急性	B
公的関与	A
実施主体・委託化	B
他の事務事業との関連	A
透明性	C
財政健全化計画	該当なし
財政健全化の取組	該当なし
改革改善プラン達成度	該当なし

一次評価	B

医療費の適正化を図るためには事業の拡大が必要となるが、それに伴い費用も増加するため、現状の中でより効果的な方法を検討する。

事務事業実施内容

人間ドック・脳ドック、基本健診（15歳以上40歳未満）、医療費通知の実施